



発行所 社会福祉法人 宝田寮
〒779-1012 徳島県阿南市羽ノ浦町中生シクア二番地
TEL 0884-4412675
FAX 0884-4412690

宝田寮 はこちら です

日頃は宝田寮を多くの方に温かく見守っていただき、ご支援ご協力に感謝いたしております。昨年はリオ・オリンピックでの活躍に一喜一憂し、思わず熱くなりました。次期開催の東京オリンピックに向けてみんなが一つになります。

子どもの養育環境は、虐待ケースの急増や深刻化する貧困問題など様々な状況が取りざたされて非常に憂慮すべき現状です。社会情勢に対応すべく、社会福祉法人制度が大きく改革する法案が成立しました。児童福祉に目を向ければ、待機児童の増加に伴う保育園の量や質の問題に連携した認定子ども園への対応取り組みがありました。同じように児童養護施設においても、被虐待児童の増加に伴う家庭の養護推進計画と小規模化に沿った今後の施設運営などに対応が求められています。法制度改革内容として①地域における公益的な取り組みを実施する②事業運営の透明性を向上する③経営組織のガバナンスの強化する④財務規律の強化する一方で、福祉人材確保が厳しい状況にあり魅力のある職場のための処遇改善やワークライフバランスなどを考慮したトータル的な人材確保や人材育成が求められています。ということで、本年度は、社会福祉法人制度改革が実施されることを視野に入れて、準備に取り組んでおります。現在宝田寮は、子どもたちが少しでも住みやすいように家庭的な雰囲気大切に

社会福祉法人制度改革と 児童福祉法改正への取り組み

寮長 八木 宏明

て、子どもたちの状況に柔軟に対応すべく処遇と人材育成の課題に取り組んでおります。小規模化と家庭の養護推進計画として4ユニット(うち小規模グループケアが2つ)に分けて、以前よりも家庭的な生活と環境を提供しながら、子どもたちそれぞれの個性を生かした目標作り(「自分づくり」)、当たり前の生活づくり等に取り組んでおります。昨春は大学進学したり、措置延長のうえ無事卒業して就労自活できました。色々な方にお世話になる事で、自立自活していける、家庭・家族の下に戻る原動力になることを強く感じております。

また本年度、児童福祉法改正に伴い、虐待の発生予防から自立支援まで一連の対策が充実強化されました。児童相談所の体制強化と関係機関をはじめ応援して下さる皆様の絆と連携ネットワークの充実強化を進め、子どもの健やかな育みに感謝しながら「安心・安全な生活」「当たり前の生活・自分づくり」の場所を保障し、児童福祉サービスの一翼を担えるよう職員一同努力いたしますので、なお一層のご支援・ご協力をお願いいたします。



公益財団法人 中央競馬馬主社会福祉財団様から助成を頂き公用車を購入しました。有難うございます。

たくさんのご寄付・招待行事・訪問行事・ボランティア等、感謝申し上げます。引き続きのご支援・ご協力をよろしく申し上げます。

社会福祉法人 宝田寮 平成27年度 決算報告

<貸借対照表>

平成28年3月31日 現在 (単位:円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	47,077,114	流動負債	6,827,372
固定資産	298,648,462	固定負債	37,861,629
基本財産	210,671,920	負債の部 合計	44,689,001
その他の固定資産	87,976,542		
資産の部 合計	345,725,576		
		純資産の部	
		基本金	15,836,239
		国庫補助金等特別積立金	146,798,972
		その他の積立金	63,000,000
		次期繰越活動収支差額	75,401,364
		純資産の部 合計	301,036,575
		負債の部及び純資産部 合計	345,725,576

<資金収支計算書>

自平成27年4月1日 至平成28年3月31日

科目		金額
収入	児童福祉事業収入	140,363,900
	経常経費寄附金収入	1,005,631
	受取利息配当金収入	23,070
	経常経費補助金収入	0
	その他の収入	1,753,217
	経常収入計	143,145,818
支出	人件費支出	86,860,188
	事業費支出	29,931,642
	事務費支出	5,835,118
	その他の支出	1,423,540
	事業活動支出計	124,050,488
	事業活動資金収支差額	19,095,330
収入	施設整備等収入計	0
支出	設備資金借入金元金償還支出	2,088,000
	固定資産取得支出	1,672,380
	施設整備等支出計	3,760,380
	施設整備等資金収支差額	△ 3,760,380
収入	積立資産取崩収入	106,782
	サービス区分間繰入金収入	155,000
	その他の活動収入計	261,782
支出	積立資産支出	13,946,632
	サービス区分間繰入金支出	155,000
	その他の活動支出計	14,101,632
	その他の活動資金収支差額	△ 13,839,850
当期資金収支差額合計		1,495,100
前期末支払資金残高		40,842,642
当期末支払資金残高		42,337,742

決算報告書の閲覧を希望される方は、宝田寮事務所係員まで申し出ください。

<事業活動収支計算書>

自平成27年4月1日 至平成28年3月31日

科目		金額
収入	児童福祉事業収益	140,363,900
	経常経費寄附金収益	1,005,631
	サービス活動収益計	141,369,531
支出	事業活動収入計	
	人件費	87,700,038
	事業費	29,931,642
	事務費	5,835,118
	減価償却費	10,582,676
	国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 5,347,583
	サービス活動費用計	128,701,891
	サービス活動増減差額	12,667,640
収入	受取利息配当金収益	23,070
	その他のサービス活動外収益	1,753,217
	サービス活動外収益計	1,776,287
支出	その他のサービス活動外費用	1,423,540
	サービス活動外費用計	1,423,540
	サービス活動外収支差額	352,747
	経常増減差額	13,020,387
収入	サービス区分間繰入金収益	155,000
支出	特別収益計	155,000
	固定資産売却損・処分損	2
	サービス区分間繰入金繰入金費	155,000
	特別費用計	155,002
	特別増減差額	△ 2
	当期活動増減差額	13,020,385
	前期繰越活動増減差額	73,380,979
	当期末繰越活動増減差額	88,401,364
	その他の積立金取崩額	0
	その他の積立金積立額	13,000,000
	次期繰越活動増減差額	75,401,364

ショートステイ・トワイライトステイ事業

家庭において、何らかの事情で一時的にお子様の養育が困難になったときにお預かりする事業です。いつでもご相談ください。阿南市・小松島市・美波町・海陽町との契約になっておりますので、詳しい事は各市役所または宝田寮までご連絡下さい。

苦情解決事業の実績報告(平成27年度)

苦情件数 児童1件 保護者0件 外部2件 計3件 全件解決済み

健康教室

栄養士 長野 真由美

ヤクルトさんによる健康教室が7月26日宝田寮で行われ、幼児・小学生12名が参加しました。

エプロンシアターを使った体の中の様子や、DVDを鑑賞しての腸の動きと細菌の活躍など、初めて知る事や発見が沢山ありました。

また、健康を維持するには、毎日の排便が「バナナうんち」の状態であることが大切で、そのためにはバランスの良い食事と運動、乳酸菌の摂取が必要であることを学びました。



子ども達もヤクルトさんに質問したり、腸の模型に触れてみたりと興味津々の授業となりました。



おいしい、菜園づくり・耕土耕心

児童指導員 岡久 守

今年度より宝田寮で働き始め、初めて体験する多くの物の中に農作業があります。まず耕運機で畑の土台となる土を耕しますが、この作業が一番重要であるため、複数回に分けて実施します。3回目くらいには通気性と水はけの良い土が出来上がるので、その状態になると畝作りに移ります。畝作りでは畝の大きさを均等にすることに苦戦しました。次に雑草が生えにくくなるマルチ張りを済ませると、いよいよ種植え、水やり、収穫と続きます。

一日も欠かさずに必要な栄養を与え、手間暇かけながら見守る。違った育ち方をしていけば人の手を加える。子ども達を支援しながら作物を育てていると、人も作物も育てる過程は同じだと改めて感じる事が多く、今年収穫した作物を手にした時の達成感と同様に、子ども達を支援する自分と成長する子ども達の過程を楽しむ、施設から自立していく子ども達を送り出すことに喜び(達成感)を感じたいと思いました。



電気に親しもう



綿菓子

ボランティア

児童指導員 宮武 照



四国電気保安協会の方に来ていただき、電気講座を開催しました。電気に関するクイズや装置を用いた電気体験、LEDライト製作と興味深い講座内容に終始、子ども達は興味津々。特に電気体験は「感電は怖い」と認識していた子ども達にとっても「痛くない」と言われても怖いものでも体験したいと恐る恐る装置に指を乗せて自分で電気を強くしていく姿は、肝試しや怖いもの見たさを彷彿とさせました。電気を感ずるビリビリ感は痛くなくて安心した子ども達には気に入った様で、「もう一回する!」と繰り返し楽しんでいました。

また、LEDライト製作は半田コテを使った難しい工程に苦戦気味。しかし、講師さんや職員補助により諦めず完成に至り、「光った!」と青色のライトが点った時の子どもの表情は達成感に満ちていました。



主任児童委員会 有志の方々によるボランティア活動のボランティア活動のお陰で、毎年恒例の行事となっている綿菓子作り体験。この時期になると子ども達との「綿菓子作りいつ来ってくれるん?」「やった!綿菓子作り今年も出来るんや。」といった会話が定番となってきている。



地域交流 秋祭り
児童指導員 小泉 佳久
10月29日、悪天候にもかかわらず約40名ものお客さまに来て頂き、熱気溢れる和太鼓の演奏を皮切りに秋祭りは開始されました。和太鼓グループ「どんど鼓」の迫力あるパチ捌きには寒さも忘れて釘づけとなり、子ども達さんにも太鼓を教わっている子には感動すら覚えました。趣向を凝らした各種ゲームコーナーや魅力的な食べ物満載のフードコートには、寒さを吹き飛ばす子ども達の歓声が飛び交っていました。
最終的には50名以上のお客さまに恵まれ、児童職員一同、身体は冷えても心は温かく和ませていただいた秋祭りとなりました。



海外研修に参加して

児童指導員 茂崎 啓典

去る10月11〜23日の間、資生堂社会福祉事業財団児童福祉海外研修の42期生としてカナダのプリティッシュ・コロンビア州(ヴィクトリア)アヴァンクワアール)に行かせて頂きました。私自身日本を出るのが初めての体験でありましたので、何もかもが刺激に満ちた13日間でした。

カナダでの児童福祉は基本的に「子どもが家庭で育つ」事を非常に大切にしており、上手く家庭で養育できない親に対する様々なサービスやプログラムが用意され、日本で言う所の措置にできるだけならないようにしています。それでも必要がある時には裁判所判断で親権が政府に移る(Care=社会的養護)のですが、その際にも子ども達の約60%が里親宅に行き、日本以上に家庭的な環境で育つことを大切にしています。

そういう基本理念を持つカナダの公的機関・NPO団体・当事者団体を中心に研修を重ねましたが、色々な団体の方が口にされたキーワードが「Child Center(子どもを中心に)」「Non Judgement(判断は本人に委ねる)」「Strength Base(強みを生かす)」でした。特にNon Judgement

の姿勢で支援者が判断せずに「本人がやりたい自分になれるように支援する」というのは、普段私を取り組んでいる自立支援とは正反対の考えで、子どもの権利を徹底して守ろうとする姿勢の強い表れで、もし本人判断で失敗しても年齢や期間で区切られてしまうことのない支援が存在する事も、姿勢を貫く上での強い後ろ盾となっています。
紙面の関係上、私が学んできたことを全てここで伝えることは出来ませんが、団員全員で報告書を作成して配布させていただきましたし、資生堂の海外研修に選ばれた団員には、研修後には広くその知識を日本の児童福祉に役立てることが義務付けられています。どこかの部会や研修会でお話を聞いていただく機会もあるかと思しますので、その時には是非色々ご質問ください。

